

様式B

環境に配慮した公共工事チェックシート（工事施工編）

○環境に配慮した事業計画の立案

◎計画段階と完了後に、該当する記号を入れてください。

【計画：実施される配慮項目⇒○、チェック対象にならない配慮項目⇒／、検討したが実施されない配慮項目⇒×】

【完了：実施した⇒○、チェック対象外⇒／、実施できなかった⇒×】

作成年月日： 令和 年 月 日

公共工事名	
課かい名	

	配慮項目	計画	完了	計画通り配慮された項目の内容又は、配慮できなかった項目の理由を記載する
	環境への負荷の少ない資材や工法の採用			
(1)	環境負荷の少ない資材を活用します。			
	① 自然素材の利用に努めます。			
	② 再生品等の使用拡大に努めます。			
	③ 再生砕石、再生粒度調整砕石、コンクリート塊等の再生砂等の使用に努めます。			
	④ 再生合板、プラスチック再生品の使用に努めます。			
	⑤ 人体に悪影響を及ぼす疑いのある化学物質の使われた資材の使用を可能な限り避けます。			
(2)	コンクリート用型枠について、熱帯材の使用を抑制します。			
	① 型枠の再利用回数の増加に努めます。			
	② 型枠の材料として、熱帯材の使用は控え、再生産可能な木材又は木材以外の材料の使用拡大に努めます。			

※チェック欄に記入する記号：【計画：実施される配慮項目⇒○、チェック対象にならない配慮項目⇒／、検討したが実施されない配慮項目⇒×】

【完了：実施した⇒○、チェック対象外⇒／、実施できなかった⇒×】

様式B

	配慮項目	計画	完了	計画通り配慮された項目の内容又は、配慮できなかった項目の理由を記載する
(3)	建設廃棄物の発生が少ない工法の採用や資材の使用に努めるとともに、建設廃棄物が適正に処理されたことを確認します。			
	① 建設廃棄物の発生が少ない工法の採用や資材の使用に努めます。			
	② 建設廃棄物の適正処理を業者に指示するとともに、適正に処理されたことを確認します。			
	③ 廃材等を焼却する際は、むやみに焼却せず、適正な施設に搬入して焼却します。			
	④ 現場作業員の飲食等による生活系の廃棄物(空き缶、弁当空箱等)についても、適正な分別による処理を業者に指示し、結果を確認します。			
(4)	建設副産物は、現場内利用や他工事での活用などできる限り再利用します。			
	① 工事現場や他の工事で発生した土砂などの建設副産物をできるだけ再利用するように努めます。			
	② 建設発生土などの建設副産物の再利用のため、ストックヤードの確保に努めます。			
	<u>騒音、振動、粉塵、排煙、排気ガス等の低減・抑制</u>			
(5)	低騒音・低振動型の建設機械を使用します。			
(6)	防塵ネットの設置、工事用車両への粉塵飛散防止シートの装着、タイヤ洗浄設備の設置等により、工事に伴う粉塵の防止に努めます。			
(7)	工事に伴う排煙・排気ガスの低減に努めます。			
	<u>泥水・汚濁水の流出の防止・土壌や地下水の汚染防止</u>			
(8)	土砂等の仮置場からの流出防止に努めます。			
(9)	濁水処理施設や沈砂池の設置、その他の設備の設置等により、工事に伴う汚濁水の流出防止に努めます。			
	<u>交通の安全確保</u>			
(10)	ガードフェンスの設置や交通誘導員の配置により、周辺住民の交通の安全を確保します。			

※チェック欄に記入する記号:【計画:実施される配慮項目⇒○、チェック対象にならない配慮項目⇒／、検討したが実施されない配慮項目⇒×】
【完了:実施した⇒○、チェック対象外⇒／、実施できなかった⇒×】